



教育目標

「未来に向かって生きる力」を備えた緒方っ子の育成

<校訓>

創造

自立

敬愛

将来の夢や目標に向かって、計画的に粘り強く取り組み、挑戦する児童・生徒

自他を尊重し、関わりの中で温かい人間関係を築くことができる児童・生徒

9年間で目指す子ども像

重点的に育てたい資質・能力

論理的な思考力と豊かな表現力

共生力

郷土愛

基本理念

総合的な学習の時間を核に、郷土学を学習材とした問題解決的・探究的な学びを展開する

重点的取組

- ①郷土の学習材を活用した9年間の系統性のあるカリキュラムの作成・実施
- ②生徒指導の3機能を生かし、課題の発見・振り返りを重視した問題解決的な展開の授業実施
- ③5・6・7年生の指導のすり合わせ及び、効果的な異学年交流活動の設定・実施

展開イメージ

- ◆総合的な学習の時間における探究的な学び
- ◆教科等における、生徒指導の3機能を生かし、課題の発見・振り返りを重視した問題解決的な学び

目指す子ども像

多様な他者と協働し、よりよく課題を解決しながら、自己の生き方を考えることができる

友だちと協働し、課題解決に向け、話し合い、合意形成や意思決定ができる

根拠を明確にし、自分の考えが伝わるように工夫して表現できる

根拠の吟味や論理の展開を工夫し、説得力のある表現ができる

自分や友だちの良さに気づき、協力することができる

理由や事例を整理し、分かりやすく表現できる

ふるさと(豊後大野市・緒方町)を知り、発信する

ふるさとの人に学び、発信する

ふるさとや自己の未来を描き発信する

地域と連携した教育活動



生徒指導の重点

望ましい生活習慣・学習習慣の定着

自律性の育成

自ら考え決断する力の育成

(期)

前期(1年生～4年生)

中期(5年生～7年生)

後期(8年生～9年生)

緒方町小中一貫教育校の取組計画表

年度			2023年度	2024年度	2025年度	
			連結強化	施設隣接型	→	
項目	番	項目	小中一貫校スタートまでの計画（～2024年度）	施設隣接型スタート		
方針	1	教育目標	小中統一の目標を設定し、教育目標達成のための取組をすすめていく。（見直し）			→
	2	めざす子ども像	小中統一の子ども像を設定し、具体の姿をさらに明確にしていながら実践を重ねていく。（見直し）			→
研修	3	合同研修	合同研修の場を設定し、児童・生徒の課題解決に向けての取組をすすめていく。（見直し）			→
			<ul style="list-style-type: none"> ○合同協議会を年5回開催した。 ○校内研の計画をお互い連絡をとり知らせ合う。 ○6月に小学校で人権教育授業を実施し、中学校職員も参加した。また、成果や決定事項を共有した。 ○児童理解のための授業参観（中→小6）を12月に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○合同協議会を年5回開催する。 ○人権に関する合同研修会を実施する。 ○校内研の計画が決まったら、お互い連絡をとりあう。 ○定期的に入権教育授業を実施し、小中学校職員が参加する。また、成果や決定事項を共有する。できれば、1学期中に小学校も中学校も1回は実施する。 ○児童理解のための授業参観（中→小6）を12月に実施する。 		
スタイル	4	学習面	<ul style="list-style-type: none"> 9年間を見通した学習スタイルを設定する。 ○授業の中で使う（めあて）（課題）などの徹底。 → 色などは小学校に中学校が合わせる。 ○ドリルの実施方法を検討・交流する。 → 計算の基礎基本の定着の方法を相談していく。 ○9年間の「学習のきまり」を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 9年間を見通した学習スタイルにそって、実践を重ねていく。（見直し） ○授業の中で使う（めあて）（課題）などの徹底。 ○ドリルの実施方法を検討・交流する。 → 計算の基礎基本の定着の方法を相談していく。できれば、小中で統一したことに取り組む。 ○9年間の「学習のきまり」を実践し、修正する。 → 授業中の姿勢の指導を徹底する。 	→	
		生活面	<ul style="list-style-type: none"> 9年間を見通した生活スタイルを設定する。 ○生活アンケートを実施する。 ○人間関係プログラムの実施内容を交流する。 ○9年間の「生活のきまり」を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 9年間を見通した生活スタイルにそって、実践を重ねていく。（見直し） ○生活アンケートを実施する。 ○人間関係プログラムの実施内容について交流する。 ○9年間の「生活のきまり」を実践し、修正する。 	→	
	5	教育課程	貫く課題（能力）を教育課程に視覚的に分かるように位置づける。			→
		6	独自教科の設定	<ul style="list-style-type: none"> ○9年間の系統的な教育課程（各教科）の作成 	○9年間の系統的な教育課程（各教科）の見直し	→
行事交流	7	学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 校舎が離れているため、「春の遠足」等可能な行事から実践していく。 ○中学校入学説明会（小6→中）を2月に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ合同行事を入れていく。 ○開校式典とお見知り遠足を4月12日に実施する。 ○中学校入学説明会（小6→中）を2月に実施する。 	→	
		8	異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> 従来の取組の是非、新たな取組の可能性を検討していく。 ○4月の球根掘りは、中1年2年、小5年6年 ○11月の球根植えは、中1年、小4年5年6年 ○それぞれの学習の成果（作品等も含む）をロイロノートで発信して交流する。 ○小学生の中学校に関する質問をロイロノートで発信して、送り返す。 ○文化祭の呼びかけポスター等、ICTを活用する。呼びかけ動画を作成する。 ○児童会主催集会に向けて生徒のアドバイスを送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4月の球根掘りは、中1年2年、小5年6年 ○11月の球根植えは、中1年、小4年5年6年 ○それぞれの学習の成果（作品等も含む）をロイロノートで発信して交流する。 ○小学生の中学校に関する質問をロイロノートで発信して、送り返す。 ○文化祭の呼びかけポスター等、ICTを活用する。呼びかけ動画を作成する。 ○小学校児童会主催集会に向けて、生徒のアドバイスを送る。 	→
	9	期ごとの行事	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校文化祭の呼びかけを実施した。 ○中学校佐土原先生が2月に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○6月の中体連後に中期の児童・生徒のFunFunスポーツ交流を実施する。 ○6年生は、2学期に中学校の生活時程表に沿って生活する体験学習をする。 ○中学校教諭が出前授業を行う。 	→	
PTA	10	PTA組織	一本化手続き完了	一本化開始	→	
形態	11	学校名	豊後大野市小中一貫教育校緒方学園に決定	豊後大野市小中一貫教育校緒方学園	→	
	12	学年の呼称		2024年度から、1年生～9年生という呼び名に変更する。	→	
	13	校歌	校舎が一つになるまでは、現状維持。場合によっては、小中学校の1番ずつ			→
	14	校章		作成について検討する。	→	
	15	児童生徒会歌		生徒に呼びかけ作成する。	→	
	16	制服	現状維持。変更なし。			→
	17	体操服	現状維持。小学校と中学校のそれぞれの体操服を基本とする。			→